

寶永

必活細刀圖

十五尾





風流絵本出来り

<sup>松</sup>さぐれ柳 <sup>松</sup>さぐれ梅 <sup>松</sup>さぐれ竹 <sup>松</sup>さぐれ草 <sup>松</sup>さぐれ花 <sup>松</sup>さぐれ鳥 <sup>松</sup>さぐれ虫 <sup>松</sup>さぐれ魚 <sup>松</sup>さぐれ山 <sup>松</sup>さぐれ川 <sup>松</sup>さぐれ池 <sup>松</sup>さぐれ谷 <sup>松</sup>さぐれ嶺 <sup>松</sup>さぐれ峠 <sup>松</sup>さぐれ橋 <sup>松</sup>さぐれ門 <sup>松</sup>さぐれ塔 <sup>松</sup>さぐれ寺 <sup>松</sup>さぐれ宮 <sup>松</sup>さぐれ壇 <sup>松</sup>さぐれ壇 <sup>松</sup>さぐれ壇

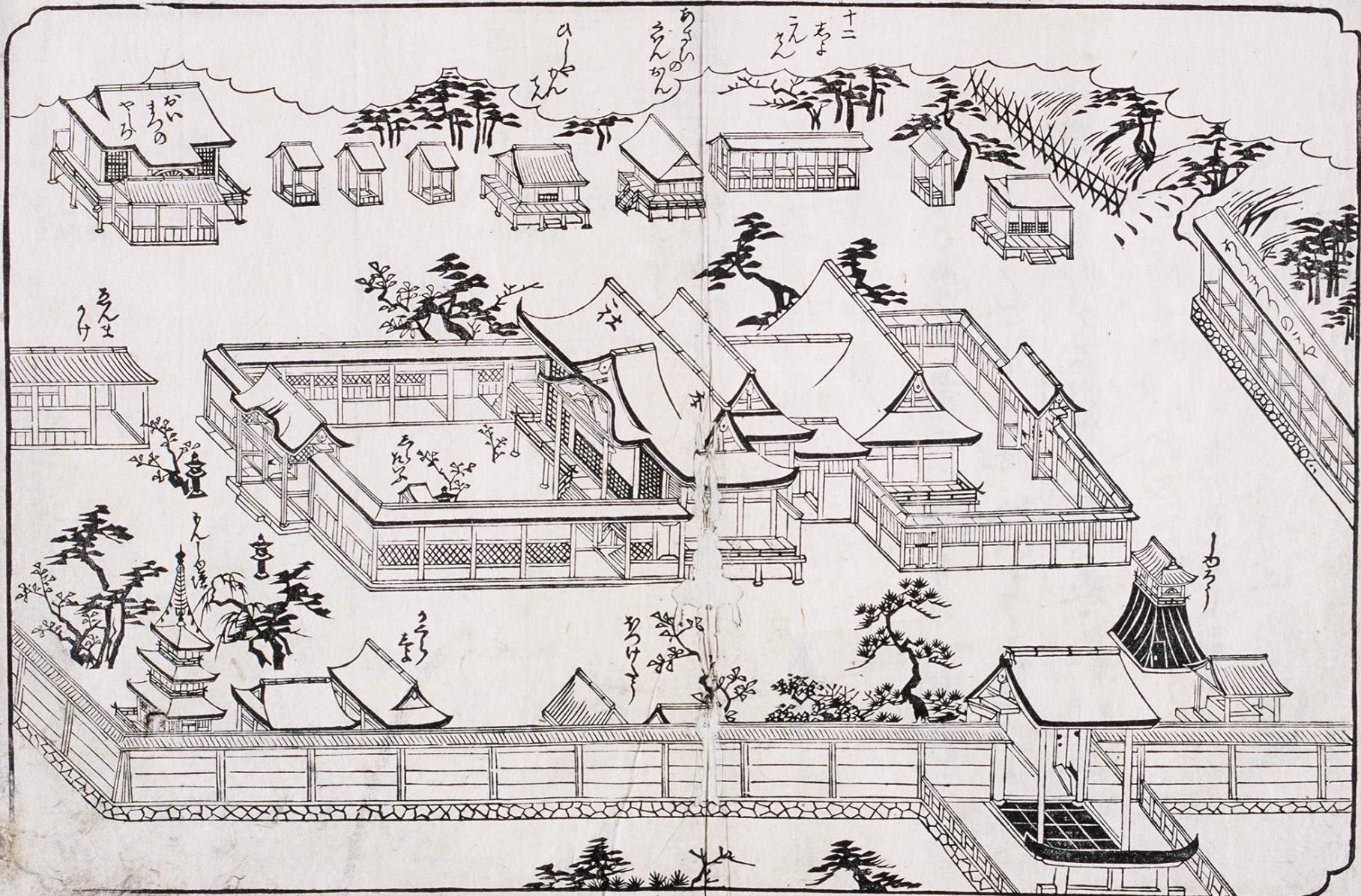
<sup>松</sup>さぐれ夜 <sup>松</sup>さぐれ朝 <sup>松</sup>さぐれ昼 <sup>松</sup>さぐれ暮 <sup>松</sup>さぐれ冬 <sup>松</sup>さぐれ春 <sup>松</sup>さぐれ夏 <sup>松</sup>さぐれ秋 <sup>松</sup>さぐれ雨 <sup>松</sup>さぐれ雪 <sup>松</sup>さぐれ霧 <sup>松</sup>さぐれ風 <sup>松</sup>さぐれ雷 <sup>松</sup>さぐれ電 <sup>松</sup>さぐれ火 <sup>松</sup>さぐれ水 <sup>松</sup>さぐれ土 <sup>松</sup>さぐれ石 <sup>松</sup>さぐれ木 <sup>松</sup>さぐれ草 <sup>松</sup>さぐれ花 <sup>松</sup>さぐれ鳥 <sup>松</sup>さぐれ虫 <sup>松</sup>さぐれ魚 <sup>松</sup>さぐれ山 <sup>松</sup>さぐれ川 <sup>松</sup>さぐれ池 <sup>松</sup>さぐれ谷 <sup>松</sup>さぐれ嶺 <sup>松</sup>さぐれ峠 <sup>松</sup>さぐれ橋 <sup>松</sup>さぐれ門 <sup>松</sup>さぐれ塔 <sup>松</sup>さぐれ寺 <sup>松</sup>さぐれ宮 <sup>松</sup>さぐれ壇 <sup>松</sup>さぐれ壇 <sup>松</sup>さぐれ壇

石の巻物 神社伊勢小名筆といふ  
 少の巻物 馬の巻物 大和繪師  
 是とあるや 畫工の便も、ハ童蒙の恩  
 ありとせしころも 櫻板のしりぞめり 猶此  
 巻物にせしころも 跡の巻物 並ふ行ふ者也

元禄十六 癸未 載正月 吉祥日  
 寺町通二条下二丁目

洛陽繪本書肆  
 金屋車右衛門板







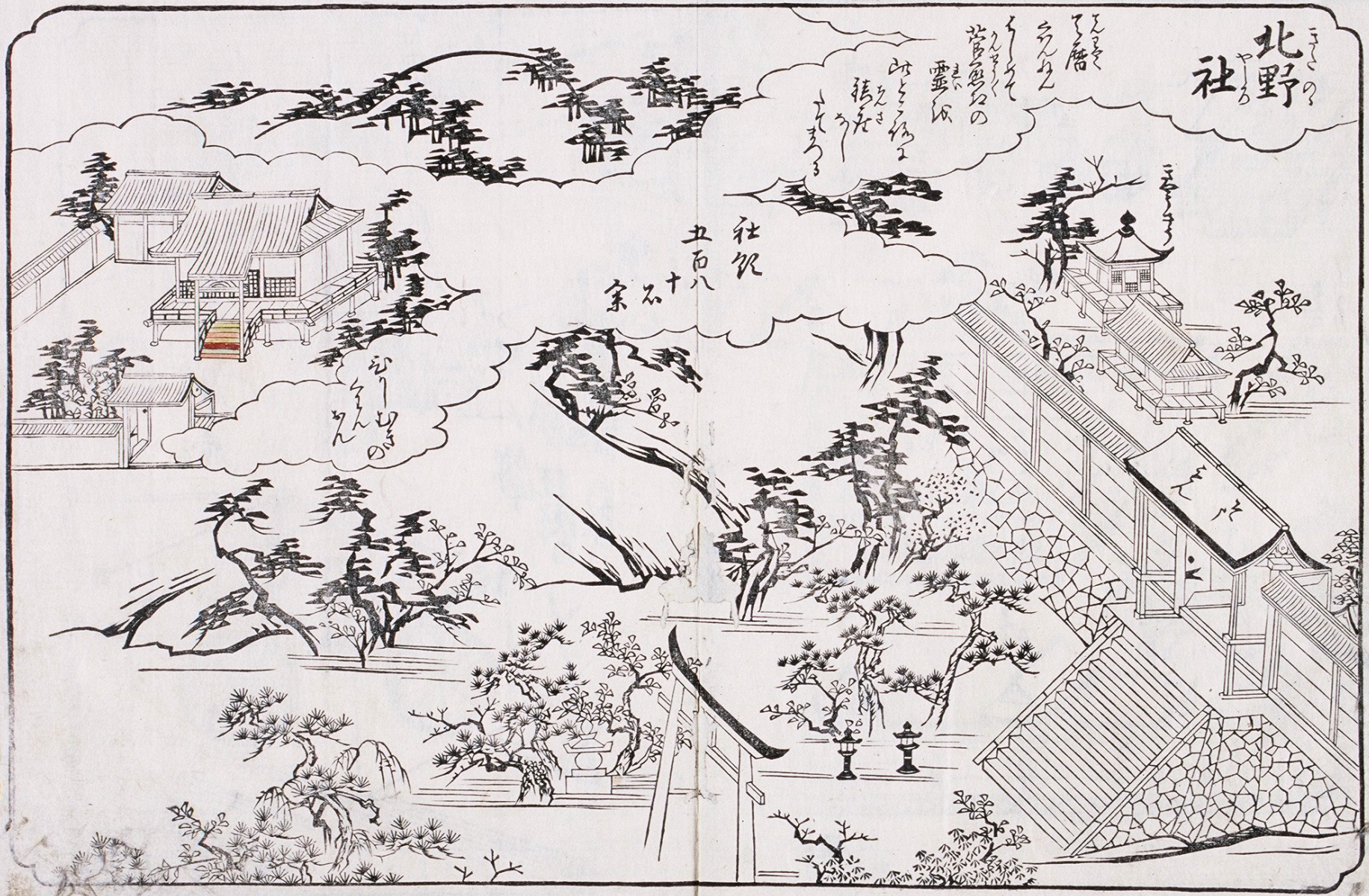
北野社

天曆  
三層  
三層  
菅原氏の  
霊派

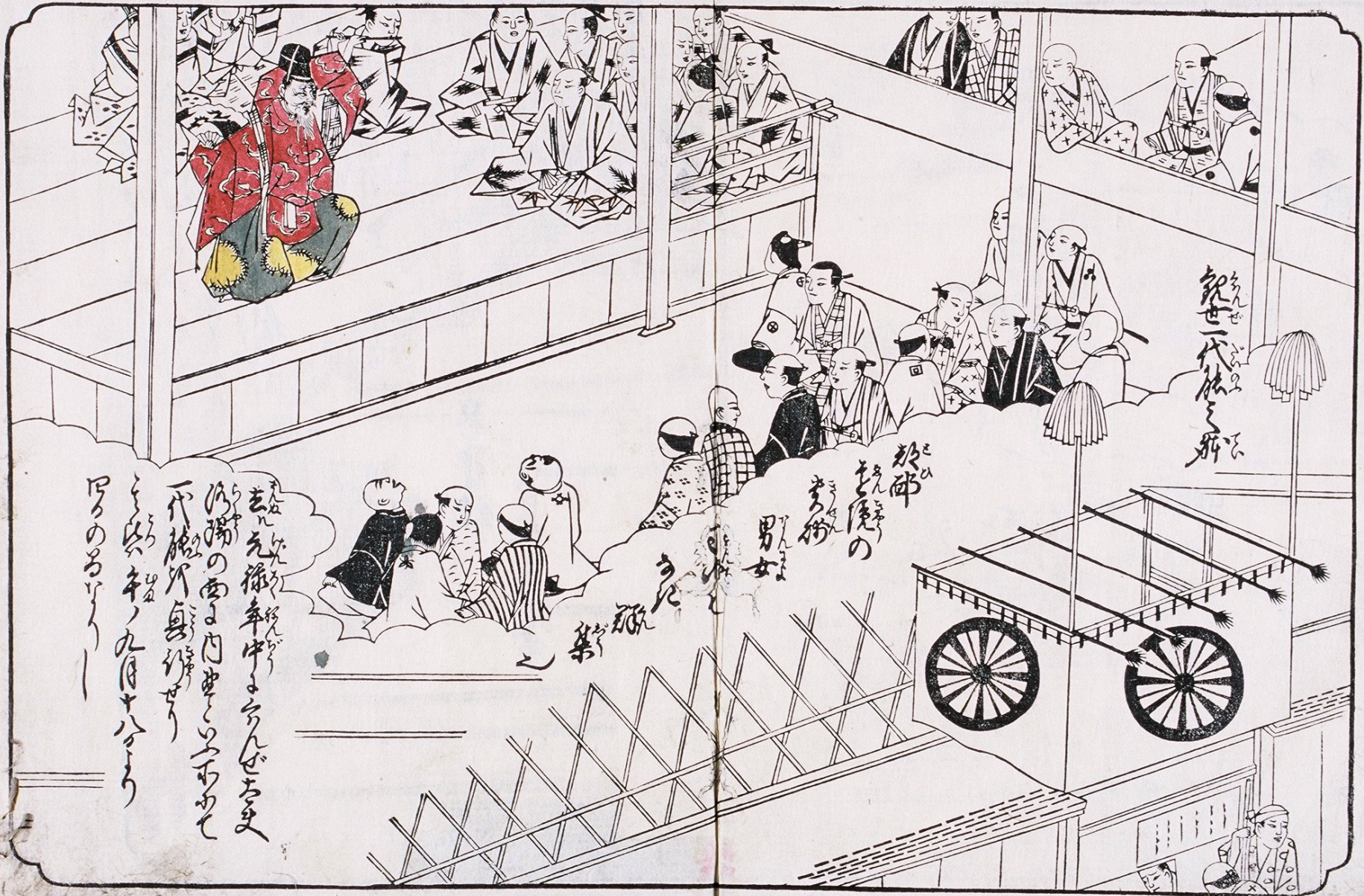
此と云ふ  
張る  
小まろ

社名  
八百八  
石  
余

北野社の  
社名







親世代徳と新

於此  
 親世の  
 男女

新

元禄年中より今迄  
 湯島の西の内曲りより西へ  
 平橋河原町まで  
 此の年九月十八日  
 甲子のちいり







鹿苑寺 三百名余

此寺の由緒ありて  
後中松院慈永四年  
源義朝  
御軍のゆかり

藝文のゆかり

のりこぎみゆり

やういあまきり

あまきり

けいせいの園とて

全くとりぬり

あまきり

あまきり

あまきり

あまきり

あまきり

あまきり

あまきり

あまきり

あまきり

あまきり

あまきり

下馬







法堂  
 延享  
 中  
 源義隆  
 講堂  
 二葉持院

二葉持院  
 石段百二十石

密浴





法堂

新子母寺

三百年九十九

細川持元

らん

用春

義天

和尙

阿方のふみ

本松

の道

の

北

の

松

の

松

の

松

の

松

の



正法山  
妙心寺

大方

法堂

佛殿

四百八十石

東山  
妙心寺  
禅作

院

うららの  
まんの  
の

うららの  
まんの  
の

うららの  
まんの  
の

うららの  
まんの  
の

うららの  
まんの  
の

